

紀州田辺を梅酒の聖地に！梅酒ツーリズムプロジェクト

1 事業主体 梅酒ツーリズム事業実行委員会

【構成団体】

田辺観光協会・田辺商工会議所・味光路+盛り上げ隊・一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー
田辺飲食業組合・朝日放送グループホールディングス株式会社・紀州田辺梅干協同組合
紀州田辺観梅協会・田辺市旅館業組合・南紀みらい株式会社・牟婁商工会・田辺市

2 全体事業費 51,000千円（うち元気プロ5,000千円）

3 目的

2023年から2025年にかけて、本市への誘客やプロモーションの好機となる大型事業*が続くことから、これらを契機に、本市の主要産業である梅産業の中で特に梅酒をテーマとしたツーリズム及び観光コンテンツを造成することで、国内外からの誘客及び梅の消費拡大を図るとともに、市民や来訪者を街なかの飲食店が集積する味光路や扇ヶ浜、紀州石神田辺梅林等に滞留させる仕組みづくりや梅酒の消費拡大に取り組み、地域経済の活性化を図る。

【大型事業】

2023年 梅酒で乾杯条例10周年、弘法大師御誕生1250年(※)

2024年 スペイン国サンティアゴ・デ・コンポステーラ市との観光交流協定10周年、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年(※)

2025年 新田辺市誕生20周年、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」認定10周年、大阪・関西万博開催(※)

※和歌山県観光局が2023～2025年の主要事業(ダイヤモンドイヤー)と位置付けている事業

4 3つの柱による取組

(1) 梅酒を味わう空間づくり 【11,500千円】(うち元気プロ0千円)

■梅酒を味わうことができる空間の創出

- 田辺市ならではの絶景空間で梅酒を味わう「梅酒テラス」の設置
※海のテラス：田辺扇ヶ浜海水浴場、山（梅畑）のテラス：紀州石神田辺梅林
- 梅酒テラスを活用したツアーの造成及びインバウンド向けのモニタリングを実施



(2) 梅酒を活用した周遊促進 【4,600千円】(うち元気プロ0千円)

■梅酒を飲み歩きたくするような環境づくり

- 市内飲食店等と連携し、地元産の梅を使用した「自家製梅酒」や「梅酒オリジナルカクテル」（ノンアルコール含む）を提供し、“はしご酒”による周遊促進を図る
- 飲み歩きマップの作成及びスタンプラリーの実施
- 「梅酒で乾杯条例」を周知する看板（御触書き）を製作し、飲食店集積エリア（味光路）を中心に設置



(3) 梅酒を核としたプロモーションの展開 【34,900千円】(うち元気プロ5,000千円)

■梅酒を核としたプロモーション

- 梅酒ツーリズムに関する情報をまとめた冊子やWEB（外国語版も）を制作し、情報発信を行う
- SNSを活用したキャンペーンを実施し、参加者からの情報発信による情報拡散を図る
- 関西圏等で開催される催事への出展
- 田辺市内での梅酒試飲プロモーションの実施

■販わい創出とメディア露出の契機となるイベントの実施

- 梅酒旅プロモーションの展開による機運醸成、国内外向けイベントの実施
R5：地元の機運醸成向けイベントの実施
R6：国内向けイベントの実施
R7：大阪・関西万博と連携するなど国内外向けイベントの実施

5 目標

	令和4年度		令和7年度
観光客数	2,131千人	→	4,231千人
梅酒飲み歩き事業参加店舗数	0軒	→	50軒
梅酒フェスの来場者数	0人	→	3,000人
梅酒テラスの利用者数	0人	→	1,000人